

「守山まるごと活性化プラン」ができましたが…。

結局は、インフラ整備？
「活性化」って何？



日本共産党演説会

消費増税、雇用と景気、原発、TPP、集団的自衛権行使
容認…。安倍首相はこの国をどうしようというのでしょうか。日
本の行く末を心配されている皆さん、是非ご来場ください。

■とき 5月17日(土) 午後6時から

■場所 大津市民会館

■とき 5月17日(土) 午後6時から

■とき 5月17日(土) 午後6時から

守山学区
・自治会魅力向上プロジェクト
・守山の歴史・伝統文化再発見
・JR東側活性化プロジェクト
・水とホテルから輝くプロジェクト

速野学区
・北の玄関もてなしプロジェクト
・(仮称) 速野まるごと博物館
・びわこ地球市民の森プロジェクト
・大川周辺環境保全・環境学習推進
・いにしへの文化を見つめ直し守ろう
・みんなで考えよう速野の未来

玉津学区
・諏訪家屋敷、歴史・伝統文化活性化
・赤野井湾再生プロジェクト
・食の地産地消プロジェクト
・ホテル祭り・イベント推進
・定住促進プロジェクト

河西学区
・野洲川・法竜側・里川満喫プロジェクト
・近江妙蓮活用プロジェクト
・河西「魅力」情報発信プロジェクト
・みんなで「つながる」プロジェクト
・健やか・安心・快適な生活環境創出

中洲学区
・野洲川河川敷・伏流水再生プロジェクト
・中洲にぎわい活力創出プロジェクト
・農業を元気にするプロジェクト
・公共交通を考えるプロジェクト

吉身学区
・ホテルを守ろうプロジェクト
・歴史・伝統をつなぐプロジェクト
・中山道を軸にした観光促進
・祭りだ！わっしょいプロジェクト

小津学区
・農から始まるお付き合いプロジェクト
・新守山川触れ合い環境整備
・水に育まれた小津の文化発見

●：「まるごと活性化プラン」って、そもそも何？というものが多く、市民の声でしょう。
●：昨年度、守山市が呼びかけて、市内7つの学区ごとに、自治会代表者など20人から30人が集まり、「地域にある歴史、自然、生活などのさまざまな資源を生かし、魅力的な地域の創造に取り組み、活性化を実現していく」ための計画が作られました。名付けて「守山まるごと活性化プラン」。昨年1年間に各学区約6回の会議で策定。この4月には下の写真のような立派な冊子が作成され、「今後概ね5年から10年で実現を目指す」ということです。
●：「自治会や地域の人々が主体的にまちづくりを進めていく上での基本指針」となること。上記のようにそのコンセ



冊子 1000冊 作成
経費 357,000円也
概要版 5000部 作成
経費 236,250円也

プトはとても立派ですが、逆に「これ、誰がするの？」というのが率直な感想。会議に参加していた人からは「計画が動き出した時、私は役を降りている。役員は大変やで」との声が。
●：そもそも、活性化とは何か。生きた事業にするためには、事業を進める「人」が必要です。市の思いは「地域が主体」であり、「実現は地域と行政が連携」して行うとのこと。庁内に「地域振興課」を新設し、このプランの遂行にあたることとですが、この壮大な計画を本当に実現しようとすれば、「役員は大変」です。

●：また、この計画では「原則、新たな施設設置は行わない」としていますが、学区によっては新たな施設整備も盛り込まれています。「学区が要望していた」というお墨付きを与え、またもインフラ整備にお金をかける仕組みです。
●：本来、市民の大切な税金は、必要性や費用対効果など十分に吟味したうえで使うのが本当でしょう。わずか6回12時間程度の話し合いでの計画であり、地に足をつけた計画とは思えません。事業として本当にお金をかけて良いのかどうか、責任をもつてする人はいるのか、将来的に責任をもつ人は誰かなど、十分な検討が必要です。
●：市内全体を見渡せば、「環境センター」や「庁舎」など、守山市は今、老朽化した公共施設の検討を進めているまっ最中。また、長年要望されている「中学校給食」「コミュニティバス」などの市民要望にどう応えるのか、さらには待機児童解決のための保育園の整備、介護を支える施設や職員体制の整備、健康で長生きできる支援体制の強化など、ソフト事業の課題も山積しています。

皆さんのご意見をお聞かせください。

日本共産党
守山民報

守山市議会議員
小牧一美
TEL・FAX 582-3785
http://komaki.jcp-web.net/

守山市議会議員
松葉栄太郎
TEL 584-3077
FAX 584-3466

日本共産党守山市委員会発行 661号 2014.4.30 TEL 583-8552 FAX 583-1098

毎週木曜日 午後5:45～6:45 守山駅で街頭宣伝しています。